

## 【お知らせ】建築防災計画評定事業 手数料改定

既に6月末に送付しておりますメールマガジンにて、お知らせしていますが、**2025年10月1日より**標記手数料を下記の通り改定いたします。申込者様にはご負担をおかけいたしますが、より良質なサービスをご提供させていただくため、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

### 改定前

延べ面積	手数料 ( )内は消費税等10%を含む
15,000㎡以下のもの	400,000円(440,000円)
15,000㎡を超え、 40,000㎡以下のもの	500,000円(550,000円)
40,000㎡を超えるもの	600,000円(660,000円)



### 改定後

延べ面積	手数料 ( )内は消費税等10%を含む
15,000㎡以下のもの	400,000円(440,000円)
15,000㎡を超え、 40,000㎡以下のもの	<b>750,000円(825,000円)</b>
40,000㎡を超えるもの	<b>900,000円(990,000円)</b>

表中赤字は  
改定部分

## 【避難計算解説 vol.23】

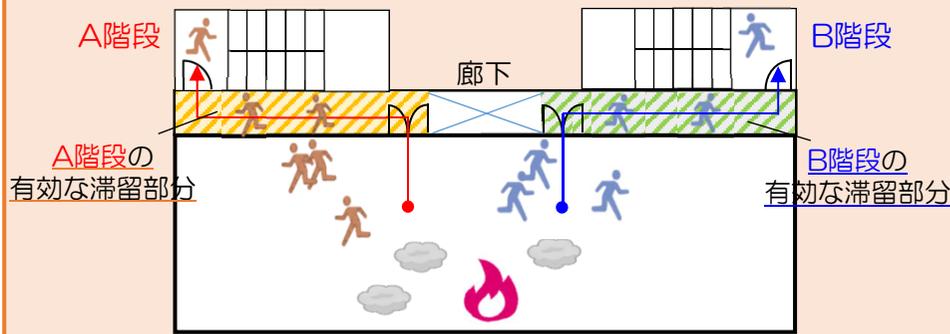
### 避難計算上有効な滞留スペースの面積について

避難計算の評価項目として廊下や付室などの「滞留面積」についても検討することが求められています。

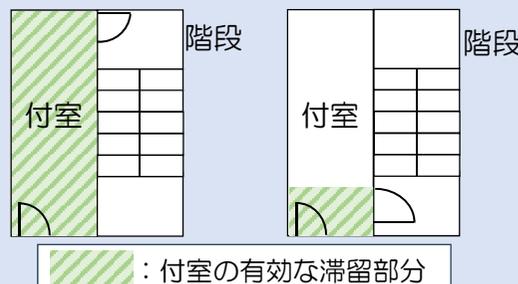
この滞留面積が十分に確保できていないと、例えば「事務所の扉から避難しようとしても、廊下に人がいっぱい扉が開けにくい」などの避難上の支障が生じてしまう恐れがあり、避難上はとても重要な検討事項となります。

滞留面積を算定する際には、下図のように「避難者が実際に通る部分の床面積」のみを有効な滞留面積とする必要がございますので、廊下等の計画時にはご注意ください。

#### 廊下滞留面積の考え方



#### 付室滞留面積の考え方



避難者が通らない部分  
＝避難経路の滞留面積には  
寄与しない部分とお考え  
ください。



## 【お知らせ】建築技術セミナー開催報告

08/22に建築技術セミナー(大阪)を開催しました。防災グループは「VR火災避難体験」を実施し、VR空間上で臨場感ある高齢者福祉施設からの避難を体験していただき、講演では「避難安全検証法ルートB2」の紹介をさせていただきました。ご来場して下さった皆様、ありがとうございました。10/17に東京会場(一橋大学一橋講堂)でも講演のみのセミナーを開催しますので、是非ご参加ください。

### 当日の様子



## 【ご紹介】YouTubeチャンネル GBRCシアター

「GBRCシアター」がチャンネル登録者数**765人**を突破しました。是非、チャンネル登録をお願いいたします！

[チャンネルページへ](#)



### お問い合わせ先

発行者: 一般財団法人 日本建築総合試験所 確認評定部  
性能評定課 防災G  
TEL: 080-8303-3873(中野)、080-8303-3872(長野)  
080-8303-3874(前山)  
E-mail: seinou4@gbrc.or.jp



## 【ご紹介】委員会スケジュールについて

今後の委員会日程は下記のとおりです。  
HPにも掲載しています。

### HP(委員会日程)

		9月	10月	11月	12月
防災計画 評定委員会	小規模共同 住宅委員会	9	2	5	3
	本委員会	19	20	20	19
		9月	10月	11月	12月
避難・耐火性能評価 委員会		26	24	27	25

(※2025/09/01現在)

### 【編集後記】

皆様は、8月26日は「火山防災の日」とご存じでしたか。この日は、明治44年に浅間山に日本初の火山観測所が設置された日です。火山の噴火が来週あるわけではないですが、日本は火山大国であり、突然火山灰が降ってきて屋根に積もり雨が降ると家屋が崩壊することや自動車が動かず道路交通網が停止する恐れがあります。そのような状況に直面する可能性があるということで、この日を機に改めて備えを見直そうと思います。私たちが身近にできる対応は「火山情報をチェック」と「防災バッグを一度点検」などがあげられます。一方で温泉が湧くのも火山のおかげで、日頃の疲れを癒されつつ、いざという時には冷静に対応できる準備を忘れずに！



記:前山